３月定例会
－議案審議の状況－

平成２８年第１回定例会は、２月２６日から２１日間の会期で開かれました。一般会計補正予算（第７号）を初め、議案４２件（議員提出議案３件含む）、報告１件、同意５件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

平成28年第１回定例会の開会に当たり、小山田市長が市政運営の基本方針と所信の表明をしました。

（以下は抜粋及び要約して記載しています）

我が国の社会経済情勢は、人口減少・少子高齢社会の到来により、さまざまな問題を抱え、今後これらの課題がさらに深刻化することが懸念されています。

本市においても、人口がこのままの状況で推移した場合、経済活動の縮小やコミュニティー機能の低下などを招き、地域の抱える課題がますます多様化・高度化することが見込まれることから、十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定し、将来にわたり持続可能な地域を目指し、移住・定住対策や少子化・子育て支援、地域経済の維持・増進などを初めとする各種施策に取り組みます。

【市の将来、まちのあり方、まちづくりの進め方を決める重要な計画の策定】

① 本市の最上位計画に位置付けられる総合計画の計画期間が平成28年度末に満了することから、平成29年度を初年度とする次期総合計画の策定作業を進めます。

② 公共施設の老朽化対策について、今後の公共施設のあり方に関する方針を定め、長期的な視点をもって施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行います。

【まち・ひと・しごと創生「総合戦略」に掲げた基本目標に基づき、地方創生に関する施策を着実に進展させる】

① 「地域における安定した雇用を創出する」取り組みとして、多様な地域農業の担い手の育成・確保に努めるとともに、野菜のブランド化対策により付加価値の高い農産物の生産・出荷に取り組みます。また、企業立地の促進に取り組むとともに、焼山地区活性化等による観光地域づくりを進め、雇用の拡大につなげます。

② 「地域への新しいひとの流れをつくる」取り組みとして、市外からの新規就農者の確保や圏域外からの転入者に対する支援等を推進して定住者の増加に努めるほか、移住を検討する方への情報発信を引き続き行います。

③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みとして、中学生までの通院・入院医療費無料化等により子育て世帯の経済的負担の軽減を図るほか、子供を安心して育てられる環境づくりに努めます。

④ 「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」取り組みとして、生活習慣病の予防対策を推進するとともに、地域の介護予防活動を支援し、高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくりに努めます。また、地域と地域の連携を深め、地域コミュニティーの強化及び地域活動の活性化を図ります。

平成27年度一般会計補正予算（第７号）

歳入歳出それぞれ４億1,417万5,000円を追加し、それぞれの総額は301億7,724万5,000円となる。

歳出の主なものは、低所得の高齢者を対象とした給付金支給事業、地域農業の担い手確保・経営強化支援事業及び地方創生加速化交付金事業としての地域内連携による６次産業化の推進事業に係る経費の追加のほか、屋内運動場のつり天井等の落下を防止するための学校施設非構造部材耐震改修事業に係る経費、寄附による地域振興基金及び子ども夢チャレンジ基金への積立金並びに学校図書及び市民図書館の図書の購入費の追加など。

その他可決した主な議案

◇駐車場条例の一部を改正する条例の制定

（中央・西二番町・北園駐車場の駐車料金を引き上げる（例：普通自動車等150円→200円）ほか、供用時間を24時間化するなど所要の改正を行うためのもの）

◇市立中央病院使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

（中央病院駐車場の普通自動車等の駐車料金を150円から200円に、定期駐車券の定期駐車料を1,200円から1,600円に引き上げるためのもの）

◇教育委員会委員の任命

（平成28年３月28日をもって任期満了となる宮腰優子氏の後任として丸井英子（まるいえいこ）氏を任命するためのもの）

◇人権擁護委員の候補者の推薦

（平成28年６月30日をもって委員３人が任期満了となることに伴い、候補者として、引き続き太田毅氏及び菊池佳子氏を推薦するとともに、柳澤博子氏の後任として下川原敏子（しもかわらとしこ）氏を推薦するためのもの）